

佐賀県感染症発生動向調査速報

平成16年第27週 平成16年6月28日(月)～平成16年7月4日(日)

平成16年第6月 平成16年6月1日(火)～平成16年6月30日(水)

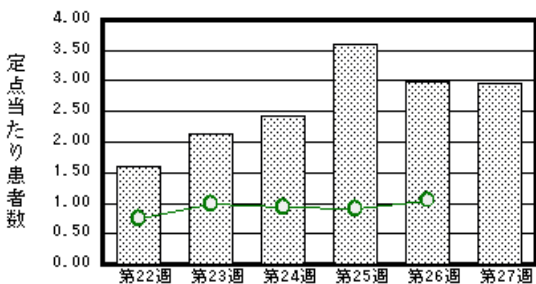
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

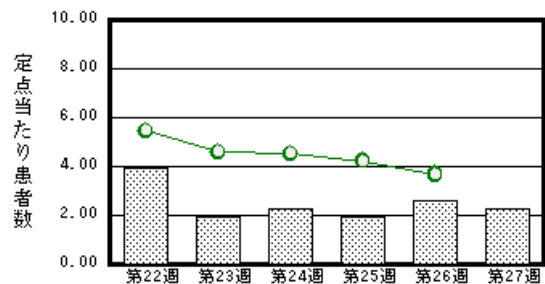
注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 流行性耳下腺炎 (68名) 感染性胃腸炎 (53名) 手足口病 (42名)
水痘 (39名) 突発性発しん (33名)
- 【咽頭結膜熱】県内の患者報告数が増加しました(17名 23名)。過去5年間に比較して患者報告数が多くなっています。全国的にも第25週で過去10年間の全ての週と比較して最高値となっています。病原体定点から提供された5検体(6/18～7/1)よりアデノウイルス3型1件、3,7以外の型4件が検出されました。
- 【手足口病】前週に引き続き、患者報告数が増加しました(39名 42名)。うがい、手洗い等、感染予防に努めましょう。
- 【腸管出血性大腸菌感染症】唐津保健所管内で4名(O157)の届出がありました。詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。
<http://www.kansen.pref.saga.jp/o157/o157.html>

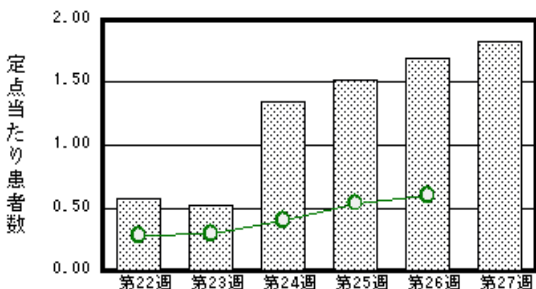
流行性耳下腺炎



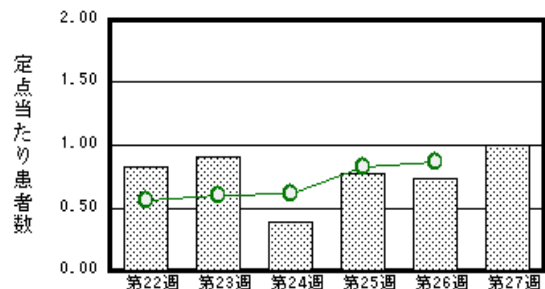
感染性胃腸炎



手足口病



咽頭結膜熱



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2004年第25週号 (6月14日～6月20日) 要点

・ 発生動向総覧	<第25週>咽頭結膜熱・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 - 定点当たり報告数は過去10年間の当該週と比較して最高値を示している / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	<先天性風しん症候群>妊婦の風しん罹患を防いでCRSの発生を防ぐためには、社会全体で風しんの流行そのものを確実に抑制しなければならない<咽頭結膜熱>プールに入る前にはシャワーなどでおしりをよく洗い、また、出たあとには目をよく洗うことを忘れないよう日常から心がける必要がある
・ 病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2002～2004年 / 咽頭結膜熱患者から分離されているアデノウイルス2004年 / ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス / 2004年4～5月に認められたノロウイルスによる胃腸炎の集団発生事例 - 大阪市 / 小学校におけるノロウイルスの集団発生事例 - 島根県 / 栃木県における風しんの流行状況とその対策
・ 速報	
・ 海外感染症情報	スーダンでのエボラ出血熱流行 - 更新 / アメカ大陸における森林型黄熱の現状
・ 感染症の話	<広東住血線虫症>広東住血線虫に起因する疾病で、2000年6月にはわが国初めての死亡例が沖縄で発生した

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(佐賀県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症(0157) (三類感染症)	
患者 (住所地)	3名(男児2名、女児1名) (唐津保健所管内)	
無症状病原体保有者	1名(男児)	
感染原因・感染経路	調査中	
平成16年届出累計	3件6名(今週1件4名)	
平成15年	同期	8件14名
	届出累計	25件42名

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告(五類感染症(週報分))

平成16年第27週

平成16年6月28日(月)~平成16年7月4日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第26週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								9 0.00
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								17
	咽頭結膜熱	7 0.88	7 2.33	1 0.25	7 2.33	1 0.20	23 1.00	17 0.74	2638 0.87
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	5 0.63	12 4.00			1 0.20	18 0.78	16 0.70	4936 1.62
	感染性胃腸炎	17 2.13	16 5.33	12 3.00		8 1.60	53 2.30	59 2.57	11190 3.68
	水痘	13 1.63	1 0.33	10 2.50	2 0.67	13 2.60	39 1.70	59 2.57	5183 1.70
	手足口病	13 1.63	23 7.67	3 0.75		3 0.60	42 1.83	39 1.70	1828 0.60
	伝染性紅斑		4 1.33		3 1.00		7 0.30	3 0.13	1910 0.63
	突発性発しん	8 1.00	3 1.00	9 2.25	4 1.33	9 1.80	33 1.43	32 1.39	2401 0.79
	百日咳							4 0.17	69 0.02
	風しん								105 0.03
	ヘルパンギーナ	10 1.25	9 3.00	4 1.00	2 0.67	3 0.60	28 1.22	22 0.96	7123 2.34
	麻しん(成人 麻しんを除く)								31 0.01
流行性耳下腺炎	11 1.38	9 3.00	44 11.00		4 0.80	68 2.96	69 3.00	3199 1.05	
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								17 0.03
	流行性角結膜炎	1 0.50					1 0.25	1 0.25	582 0.92
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								7 0.01
	無菌性髄膜炎	2 1.00	1 1.00				3 0.50		18 0.04
	マイコプラズマ肺炎								105 0.22
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								7 0.01
	成人麻しん								

インフルエンザは、小児科定点+内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は25週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成16年第27週 平成16年6月28日(月)~平成16年7月4日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSV ウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん
6ヶ月未満		6ヶ月未満								2						6ヶ月未満				2			
12ヶ月未満		12ヶ月未満				2	3	2		22						12ヶ月未満							
1歳		1歳		6	1	10	4	13		9			15		2	1歳							
2歳		2歳		6	1	3	9	10					3		10	2歳							
3歳		3歳		6	4	9	10	7					7		16	3歳							
4歳		4歳		3	1	12	6	4					2		6	4歳							
5歳		5歳		1	3	4	2	4					1		14	5歳							
6歳		6歳			5	1	3								8	6歳							
7歳		7歳			1	4	1	1	4						5	7歳							
8歳		8歳			2		1		3						5	8歳							
9歳		9歳		1		1		1							1	9歳							
10歳~14歳		10歳~14歳				4									1	10歳~14歳				1			
15歳~19歳		15歳~19歳				1										15歳~19歳							
20歳~29歳		20歳以上				2										20歳~29歳		1					
30歳~39歳																30歳~39歳							
40歳~49歳																40歳~49歳							
50歳~59歳																50歳~59歳							
60歳~69歳																60歳~69歳							
70歳~79歳																70歳以上							
80歳以上																							
合計		合計		23	18	53	39	42	7	33			28		68	合計		1		3			
前期計		前期計		17	16	59	59	39	3	32	4		22		69	前期計		1					
当期間/前	***	当期間/前	***	1.35	1.13	0.9	0.66	1.08	2.33	1.03		***	1.27	***	0.99	当期間/前	***	1	***	***	***	***	***
増減数		増減数		6	2	-6	-20	3	4	1	-4		6		-1	増減数				3			

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症月報分)

平成16年6月

[患者数 :人]

	STD 定点数	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		合計		基幹 定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
佐賀中部	3	14	4	3	7			5	5	22	16	2				
鳥栖	1							4		4		1				
唐津	1		6		1				1		8	1				
伊万里	1	1						1		2		1				
杵藤	1		3								3	1				
合計	7	15	13	3	8			10	6	28	27	6	32	11		43
前期計		19	9	2	2	1	1	14	1	36	13		23	10		33
当期間/前期		0.79	1.44	1.5	4			0.71	6	0.78	2.08		1.39	1.1	***	1.3
増減数		-4	4	1	6	-1	-1	-4	5	-8	14		9	1		10

[定点当たり患者数 :人/定点]

	STD 定点数	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		合計		基幹 定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
佐賀中部	3	4.67	1.33	1	2.33			1.67	1.67	7.33	5.33	2				
鳥栖	1							4		4		1				
唐津	1		6		1				1		8	1				
伊万里	1	1						1		2		1				
杵藤	1		3								3	1				
合計	7	2.14	1.86	0.43	1.14			1.43	0.86	4	3.86	6	5.33	1.83		7.17
全国前月	916	1.51	1.93	0.33	0.51	0.33	0.27	1.24	0.24	3.41	2.95	464	3.36	1.31	0.09	4.76

[年齢階層別患者数 :人]

	STD	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		合計		基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
0歳													1	1		2
1歳～4歳														3		3
5歳～9歳													1	2		3
10歳～14歳																
15歳～19歳			6					1	2	1	8					
20歳～24歳		3	4		4			2		5	8					
25歳～29歳		2	2	1	2			1	1	4	5					
30歳～34歳		3			1				2	3	3					
35歳～39歳		2						2		4						
40歳～44歳		1		1	1			1		3	1		2			2
45歳～49歳		1	1						1	1	2		2			2
50歳～54歳		1		1						2			2	1		3
55歳～59歳		1						2		3			1	1		2
60歳～64歳		1						1		2			3			3
65歳～69歳													3			3
70歳以上													17	3		20
合計		15	13	3	8			10	6	28	27		32	11		43
前期計		19	9	2	2	1	1	14	1	36	13		23	10		33
当期間/前期		0.79	1.44	1.5	4			0.71	6	0.78	2.08		1.39	1.1	***	1.3
増減数		-4	4	1	6	-1	-1	-4	5	-8	14		9	1		10

***は前期計が"0"のとき